



意 志 を つ な ぐ

2018年東商は創立140周年を迎えます

勇気ある 経営大賞

第15回

実施報告

2017

未来を切り拓くのは、
常識を打ち破る**勇気**だ。



目次

会頭あいさつ	2
実行委員長あいさつ	3
選考にあたって	4
社長に訊く「勇氣ある経営」	5
奨励賞受賞企業の紹介	15
第15回「勇氣ある経営大賞」実施概要	17
過去受賞企業一覧	20

受賞企業一覧

大賞	株式会社丸高工業	5
優秀賞	協栄産業株式会社	7
	株式会社南武	9
特別賞	株式会社協進印刷	11
	株式会社ワキュウトレーディング	13
奨励賞	イービーエム株式会社	15
	FSX株式会社	15
	FSテクニカル株式会社	15
	株式会社関越物産	15
	株式会社今野製作所	15
	株式会社鹿浜製作所	16
	株式会社玉川繊維工業所	16
	日本工業刃物株式会社	16
	株式会社ポボンデッタ	16
	丸和繊維工業株式会社	16
	三益工業株式会社	16

※2017年9月26日発表 ※同賞内は社名50音順

会頭あいさつ

東京商工会議所 会頭

三村 明夫



わが国経済は、アベノミクスの成果が現れ、総じて緩やかに改善しています。一方で、人手不足が深刻な課題になっており、これまでマイナスで推移してきた需給ギャップも足元でプラスに転じるなど、今後、さらなる経済成長を実現するためには、供給力が制約要因となる段階になりつつあります。

こうした点を踏まえると、今後は、サプライサイドにより多くの光を当て、中長期的に潜在成長率の3要素である生産性、資本ストック、労働力を向上させ、供給力を引き上げていくステージに変わってくると言えます。

政府には、サプライサイド強化に向け、企業活動を後押しする環境整備を迅速かつ強力に推進することを期待しておりますが、経済成長の主役は、あくまで民間企業であります。経営者自らがデフレマインドを払拭して積極的な経営姿勢に転じることが、経済の好循環をもたらす、日本経済再生と地方創生の実現につながります。

日本経済は、石垣が中小の石がしっかりと組み合わさっているように、大企業と中小企業が相互に連携することで強さを発揮しています。特に、全企業数の99.7%を占め、全労働人口の約7割を雇用するなど、日本経済を支える中小企業が大きな課題に直面しつつも、自らイノベーションを起こし、勇氣ある挑戦を行うことが日本経済の成長の

ために不可欠です。

今回で第15回目を迎える「勇氣ある経営大賞」は、過去に拘泥することなく理想を追求し、常識を打破しつつ高い障壁に挑むなど“勇氣ある挑戦”を称える、他に類のない賞です。応募のあった155社の業種や業態は、さまざまでしたが、いずれの中小企業も、経営者の高い志と独創的なアイデアや工夫を持って、課題に挑戦する企業ばかりでした。

とりわけ、今回、受賞された企業は、深刻化する人手不足に対し、知恵を振り絞り、課題に果敢に挑戦し乗り越えた企業や、新たな石油資源を必要としない究極の循環資源の実現に向け取り組んだ企業など、後に続く中小企業に勇氣を与え、成長に向けたイノベーションを体現した好事例であります。

また、今回は、惜しくも選に漏れた企業も多くありましたが、応募企業の水準が年を追うごとに高まってきていることを実感しており、大変喜ばしく思います。ぜひ、次回以降も積極的な応募を期待しています。

末筆となりましたが、受賞されました企業各社の一層のご活躍にご期待申し上げるとともに、本賞の実施にあたり、ご推薦をいただきました関係各機関、ならびに選考に携わっていただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

実行委員長あいさつ

「勇気ある経営大賞」実行委員長
東京商工会議所 副会頭

伊 東 孝 紳



第15回を迎えた「勇気ある経営大賞」は、昨年同様多数のご応募をいただきました。最終選考に残った企業をはじめ、ご応募いただいた企業の多くは創意工夫に溢れ、チャレンジ精神が旺盛な素晴らしい内容でした。

今回はその中から、大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社を選出いたしました。また今後本賞を受賞することが期待される企業として、奨励賞11社を選出しております。この場を借りまして募集や選考に当たりご尽力いただいた皆さまには厚く御礼を申し上げますとともに、本顕彰制度にチャレンジされた全ての企業に感謝を申し上げます。

大賞企業の丸高工業は、ビルの耐震補強工事・改修工事などを手がける建設業です。他の建設業者と同様に同社でも深刻な人手不足、とりわけ職人や熟練工や現場監督者の不足が問題となっていました。800近くの工程を見直し、多くの作業を標準化することで熟練工と同レベルの品質と安全を確保できる体制構築を通じて克服しました。また、従来のビル改修工事では騒音・粉塵により土日・夜間に工事が集中し、コスト上昇と工期の長期化が課題となっていました。同社では工具機械製作のノウハウがないにも関わらず、消音・消塵化する工具ならびに工法を開発することで、工期の大幅短縮を達成しました。

優秀賞2社には、何度でも再生可能なペットボトルのリサイクル技術を国内で初めて確立した協栄産業、新事業展開と海外進出への挑戦でリーマンショック後の経営危機から脱却した南武を選出しました。特別賞2社には、付加価値の高い医薬品パッケージ印刷への挑戦で価格競争から脱却した協進印刷、マッシュルームの市場拡大と農家への技術指導を通じた増産への挑戦で業績を拡大させたワキュウトレーディングを選出いたしました。

ここ3年、実行委員長として選考に参画し実感したことは、受賞した各企業の経営者の方々は常識を打破するという勇気ある挑戦を、逆境にも負けずに、我慢強く継続していく強い意志をお持ちだということです。企業規模の大小を問わず、「勇気ある経営」が社会環境や経営環境を乗り越え、事業を成長させていることに大変勇気づけられました。

私ども東京商工会議所は、このような「勇気ある経営」を体現した企業の活動を広くPRすることで、後に続く多くの企業に、夢と挑戦する勇気を与えることが出来ると考えています。今回惜しくも入賞を逃した企業においても、勇気ある経営活動を継続・進化させ、是非再度チャレンジしていただきたいと思います。

今後とも本顕彰制度へのご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

選考にあたって

「勇気ある経営大賞」選考委員長
国際大学 学長

伊 丹 敬 之



「勇気ある経営大賞」の今年の最終審査を終えて、二つの大きな印象が残った。

一つは、社会性の高い(別な言葉でいえば、社会的にインパクトが高い)事業で優れた成果をあげたと思われる受賞企業がかなりあった、ということである。もう一つの印象は、リーマンショックが与えた傷の深さから立ち直りがやっとできたという企業が、受賞企業にもあるいは奨励賞受賞に回らざるを得なかった企業にもかなりあった。リーマンショックからほぼ10年。それだけの時間がかかるのか、という感慨もあった。

社会性の高い事業のいい例が、大賞の丸高工業と優秀賞の協栄産業である。前者は耐震補強工事を中心に、工事全体に必要なさまざまな作業を徹底的に分析して、比較的熟練度の低い人たちでも作業ができるように作業工程やマニュアルを工夫し、また器具も導入している。結果として、工数の削減による労働時間削減、柔軟な人員配置、などを実現した。これは、同社のみならず、建設業に大きなインパクトがある事業成果である。

協栄産業は、ペットボトルの完全リサイクル(ボトルを回収し、ボトルになりうる素材に再生する)に成功している。環境問題を解く鍵の一つである静脈産業(廃棄物などの回収から始まる事業)でのめざましい成功例であろう。

いずれの企業も、困難な挑戦をあえて行い、その成功までにさまざまなリスクを経験し、最後には障壁を乗り越

越えた。まことに、勇気ある経営そのもので、この大賞にふさわしい企業である。

リーマンショックからの回復には10年の歳月が必要なのか、という思いを新たにさせてくれたのが、南武と協進印刷である。業種は、特殊なシリンダーの製造と印刷・パッケージングとそれぞれまったく異なるのだが、リーマンショック後の大きな売上ダウンからリカバリーするために、新天地を求めて勇気ある経営を行なった。南武の場合は中国進出であり、協進印刷の場合は医薬品用パッケージング分野への進出だが、いずれもその進出を成功させて、リーマンショック前の業績に戻っている。二社の10年にわたるご苦勞に、大いに敬意を表したい。

特別賞受賞のワキュウトレーディングは、マッシュルーム専門商社である。日本であまり食習慣のなかった白い小さなマッシュルームを広めるために、じつにユニークで多様な努力を社長自身が重ねてこられた。好きこそもの上手なれ、というが、マッシュルームに賭けた人生と企業は、特別賞にまことにふさわしい。

今年も、例年のようにユニークな受賞企業に恵まれた。感慨の深い審査でもあった。そして、例年のことだが、選考のための現場調査などをご担当頂いたワーキンググループの委員の方々には、夏の暑い盛りに作業をしていただいた。さらに、惜しくも三次選考にもれた多くの企業の方々にも調査をご協力頂いた。みなさんのご努力に、心から感謝したい。



株式会社 丸高工業

代表取締役社長 高木 一昌

受賞
理由

●3Kによる人手不足、熟練工への育成の困難さ、現場管理者不足、土日夜間工事によるコスト上昇と工期長期化など建設業界が抱える課題を解決すべく、「熟練工の作業見える化」と、工期短縮を図るための「消音・消塵化」に挑戦し、深刻な人手不足を克服したこと。

株式会社 丸高工業

事業
内容 耐震・改修工事を中心とした建設工事全般

- 本社所在地：〒140-0014 東京都品川区大井1-47-1 NTビル3階
- 業 種：建設業
- 創 業：1954(昭和29)年
- 従業員数：70人
- 資本金：3,000万円

熟練工をはじめとする深刻な人手不足。作業の見える化と消音・消塵化に挑戦

当社は耐震補強工事・改修工事に特化し、企画、設計、施工まで全て自社一貫で行っています。私たちが直面した壁は建設業界共通の人手不足でした。ベテランの引退、土日夜間勤務が多いことに起因する高い若手の離職率、その結果生じる技術の断絶。改修工事は「熟練工にしかできない」という常識が根本問題でした。そこで挑んだのが熟練技の「標準化」です。

私は子供の頃から現場に出て高校生の時には職長も経験しました。熟練工と素人の力の開きは肌でわかります。「何とかできないか?」と考え、2006年から熟練工と同じレベルの仕事を若手や女性でもできるよう標準化に取り組みましたが、2年後に一度行き詰まりました。それでも諦めきれずアプローチを再開。そしてようやく、多くの作業を標準化することができました。

まず改修工事の約800の作業工程を全て詳細に分析。①正味作業(利益を生む作業)、②付帯作業(①のために必要な作業)、③無駄な作業に分け、①を増やす研究を行い、「非熟練」の作業から「熟練」作業となり得る要因を分析しました。この過程に時間がかかるのです。大田区に設置した当社のリニューアルイノベーションセンターで非熟練者で手順を試し、失敗してはまた繰り返し。壁のクロス貼りの標準化には1年かかりました。

手順や材料、工具を変え、時には新工具を開発し、何度も改善を重ねて標準作業手順書を作り上げました。熟練工でなくても自主管理でき、品質と安全の確保された工事の提供が可能になったのです。

人手不足を助長する要因はもう一つありました。工事現場の「音」、騒音です。ホテルやオフィスではフロアごと

に工事しますが、工事の騒音・振動は、お客様の営業に損失を与えることにもなります。影響がでないようにすると、平日よりコストが高い土日夜間で工事することになり、熟練工の確保が大変難しい。これを何とかするのが施工会社の仕事というのが業界の「常識」でした。これを打破したいと思い「音がしない」工具(工法)の開発に着手。外部の協力も得て、壁のモルタルを“下からめくる”ように剥がすメクリックスを開発しました。作業の騒音は100dBから65dBに激減。また剥がすと同時にモルタルを回収するため粉塵も大幅に低下しました。

平日、お客様の営業時間にも工事ができ、工期も短縮。標準化と組み合わせることで、将来的には若手や女性でも作業ができることを目指していきたいと思っています。



- 1 従来工法によるモルタルの撤去。ハンマードリルでモルタルを砕くため、大きな騒音・振動が付きまとう。モルタルは床に落ちてさらに小さく砕け、粉塵が舞う
- 2 メクリックスの使用風景。大きな刃が下に滑り込んでモルタルを“めくりながら”剥いでゆく
- 3 メクリックスシステムの全景

深刻な熟練工不足。
課題と向き合い、
常識を打破する「勇気」。





協栄産業 株式会社

代表取締役社長 古澤 栄一

受賞理由

- 従来、ペットボトルリサイクル原料はプラスチック製品の加工原料の増量材としての用途しかなく、1度しかリサイクルできなかった。将来にわたって資源を循環させるため「再びペットボトルに戻す技術が必要不可欠」と決意し、何度でも再生可能なペットボトルのリサイクル技術を確立したこと。

協栄産業 株式会社

事業内容 合成樹脂の再生加工・販売

- 本社所在地：〒323-0807 栃木県小山市城東2-32-17 ※都内：中央区
- 業 種：製造業
- 創 業：1985(昭和60)年
- 従業員数：114人
- 資本金：1,000万円

ペットボトルの「ボトルtoボトル」を日本で初めて実用化

当社は1985年に創業した、ペットボトルのリサイクルを手掛けている会社です。94年以降、ペットボトル飲料が爆発的に増加し、リサイクルが追いつかずゴミとしてあふれる懸念がありました。加えて、当時のリサイクル原料は、プラスチック原料の増量材としての用途しかなく、1度しかリサイクルできませんでした。そこで私は、将来にわたって資源を循環させるため「再びペットボトルに戻す技術が必要」と決意。空きペットボトルは資源ではなく「ゴミ」だと認識していた人々の意識を変え、新たな石油を必要としない「究極の資源循環」に向けた闘いが始まりました。

夢を実現するには工場が必要で、工場を作るには銀行からの資金が必要です。また安定的な顧客はもちろん、国の認証も必要になります。年商約20億円

で建設費25億円のプラント計画を銀行に訴えた時、また工場予定地の住民から「リサイクルの名を語ったゴミ処理施設」と猛反対にあった時、私は今後の日本におけるリサイクル産業の必要性、成長性、将来性を示し、理解を得ることに努めました。

結果、ようやく新工場竣工にこぎつけたのですが、次に必要なのは「不純物の完全除去」「物性低下の克服」という技術的課題の克服と、ボトルtoボトルの安全性を示す採用実績。私たちはある大手飲料メーカーの安全性検査を受けることになりました。それは、極めて過酷な検査でした。

安全性を確認する手法としてメーカーから提示されたのは代理汚染試験と呼ばれる実証実験。意図的に毒物で汚染させたペットボトルをプラントに投入

し、完全に毒物を取り除けるかを確認するテストです。失敗すればプラント自体が汚染され、何カ月も稼働を停止させることになり、事業自体が崩壊します。社員たちと話し合い、それでも「やろう!」と実施に踏み切りました。そして、不純物の完全な除去が確認されたのです。その時の思いは、語り尽くせません。

このメーカーを皮切りに当社製品は飲料メーカー数社に採用され、現在では年間15億本以上のリサイクル飲料ボトルが製造されています。また、原油からペットボトルを作る場合と比べてCO2を63%削減できるため、海外企業からの受注も増えてきました。「次世代に地球の限りある資源を残す」という当社の理念に、少しずつ近づいている実感があります。



- 1 製品の安全性を最優先とし、品質維持に向けて厳密な検査を行う
- 2 再生ペットボトルを使った商品群。先行メーカーに続く採用事例も増えている
- 3 回収されたペットボトル。同社がボトルtoボトルに成功したのは、諸外国に比べ、日本の回収ペットボトルの品質が高い(洗浄されている・ラベルが剥いてある等)ことも理由の一つと古澤社長は語る
- 4 透明度が高く、新造品と同等の品質を誇る再生ペットボトル

限りある資源。
理想を胸に抱き、
進み続ける「勇気」。





株式会社 南武

代表取締役 野村 伯英

受賞
理由

●リーマンショックにより売上が半減。この危機に際し、既存事業と競合するリスクのある新事業の展開と、赤字に陥りながらも成長が見込める中国への工場建設と市場参入に挑戦。その結果、リーマンショック後に離れた顧客を取り戻すと同時に新規顧客を獲得、シェアの維持・拡大に成功したこと。

株式会社 南武

事業内容 金型用油圧シリンダー、
重工業向けロータリージョイントの設計・製造・販売

- 本社所在地：〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-8-16 ※都内：大田区
- 業 種：製造業
- 創 業：1941(昭和16)年
- 従業員数：119人
- 資本金：5,800万円

熾烈な競争の中、
自社の過去モデルを
否定する「勇気」。

リユース事業立ち上げを断行。社運をかけ中国市場へ進出

当社は、エンジン鑄造等で用いられる金型の中子抜き油圧シリンダーや、製鉄所の圧延ライン等で使われるロータリージョイントの製造を手がけています。高熱や高圧、高回転といった過酷な使用環境でもトラブルが発生しない高品質と耐久性で、自動車メーカーや金型メーカー、製鉄会社等から高い評価を得てきました。

2008年のリーマンショックは、当社にとって過酷な試練でした。売上高は半減。当社のみならず業界全体が同様の状況で、結果、熾烈な価格競争に陥りました。そんな中、私が下した決断が「製品リユース」という新たなサービスの展開と、リーマンショックの最中で唯一の成長市場だった「中国への工場進出」です。

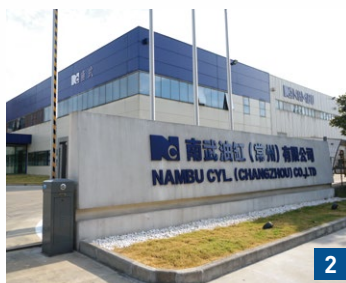
リーマンショック以前は、お客様が金型を更新する

時にシリンダーも新調してもらえましたが、予算削減のため一部のお客様は古い金型からシリンダーを外し、メンテナンスもせず新しい金型に取り付け始めました。安全面から見て望ましくはありませんが、逆にそこにニーズを見出したのが、損傷部品の交換で品質を保証する「リユース事業」です。

「新品の受注減につながる」と従業員から反対の声があがりました。「他社がやらないことこそやるべき」と説得し、自社既存事業との競合を覚悟で押し切りました。新製品に比べ、価格は新品の40～50%程度。更新金型分も含めたトータルでの低価格は、初期コストだけが安い他社の価格を打ち破る競争力があります。顧客の奪還・新規獲得に成功し、国内の顧客シェアは現在75%に達しています。

大型の景気対策を実施していた中国では、当社の製品への需要も拡大し、代理店を通じた輸出で対応していました。現地化すると本社売上が減するという、社内でのジレンマもあったからです。しかし、動かないと現地競合にコスト・納期で市場を奪われてしまう。そこで赤字の中、3.5億円の投資で現地子会社設立を決断。中国出身の従業員と、上海に留学経験がある私の弟を中心に進出地を調査し、3カ月で立地等を決め、全社員で立ち上げを支援しました。

模倣防止のため、重要部品は日本から供給し、高品質を維持。黒字化を達成する一方『中国に工場があるなら』と国内企業の取引が増加する効果も出ています。勝負をかけた新たなモデルが、やっと少し見えてきました。



- 1 展示会には積極的に出展、技術面の優位性をアピール
- 2 中国現地法人の工場
- 3 中国工場内部。左側の二人が中国工場立ち上げの中心となった中国出身の総経理(左)と、技術部門責任者(野村代表の実弟・右)
- 4 同社の主力商品。上は国内シェア7～8割を占める、主に自動車業界向けの金型用中子抜きシリンダー。下は主に重工業・製鉄メーカー向けのロータリージョイント・ロータリーシリンダー。北米の市場シェアは約7割





株式会社 協進印刷

取締役社長 稲川 景一

受賞理由

- 1990年代から取引先の海外進出や印刷技術のデジタル化など、事業環境が激変。受注減少と競合との激しい価格競争により経営危機に陥った。状況を打開するため医薬品パッケージ分野への進出を決断。その結果、付加価値の高い医薬品パッケージ印刷で業績を伸ばし、価格競争からの脱却を図ったこと。

株式会社 協進印刷

事業内容 高機能・高付加価値な紙パッケージの企画・製造及び提案営業

- 本社所在地：〒154-0023 東京都世田谷区若林4-39-1
- 業 種：製造業
- 創 業：1951(昭和26)年
- 従業員数：76人
- 資本金：7,200万円

付加価値の高い医薬品パッケージ分野に挑み、価格競争から脱却

当社はかつて贈答品の化粧箱製造が主力でしたが、現在は医薬品・食品向けの紙製商品パッケージを企画・デザイン・製造まで一貫して手掛けています。化粧箱と医薬品の箱では求められる要素が全く違います。容器としての美的・構造的な規格と、薬事に基づく規格との違いとでも言えば良いでしょうか。90年代後半、同じ「箱」でも従来の領域とは対極にあった医薬品パッケージへの進出。それが最初の挑戦ですが、その先の「工場統合」こそ、企業の存亡をかけた戦いでした。

市場が細り季節毎の変化も大きいギフト需要から年間を通じた工業製品需要の対応へ。特に医薬品分野では、薬を梱包することから高度な衛生管理体制を持つ工場が不可欠です。98年当時、当社はそれまでの受注増に対応すべく3工場(本社・福生・瑞穂)

を持っていたが、事業内容が重なり、非常に非効率な状態に陥っていたのです。

工場を統合しつつ、理想とする新工場を福生の敷地内に建設したい。将来図は見えていました。しかし現実がそれを許しません。生産を維持し、工場集約に伴う熟練工の流出を防ぎ、そして莫大な資金をどう調達すれば良いのか。規制の関係上、同一敷地への建設はハードルが高く、一方で市場はさらに過酷さを増してきます。悩んだ末に下した決断は「新工場建設を三期に分ける」「竣工に応じて工場閉鎖を進める」でした。一気呵成に統合を進めるのではなく、たゆみなく理想に向けて変え続ける道を選んだのです。

新工場完成まで約10年かかりました。忍耐の要る歳月でしたが、資金需要を分散でき、情勢に応じた工

場の設計変更も可能になりました。

現在の当社は、挑戦の延長線上にあります。福生の新工場の完成後も毎年2.4億円の設備投資を続けました。その結果、医薬品業界並みのクリーンな工場環境を実現し、世界最先端の設備を揃える生産体制を持つに至りました。パッケージの企画・設計からデザインまでトータル提案できるビジネスモデルが整ったのです。

新工場計画を決めた当時、先代経営者の父はすでに他界しておりましたが、「石橋を叩いて渡らない」ほど慎重だった父を説得できる計画を練らなくては、と眠れぬ夜が続きました。いま、医薬品パッケージはジェネリック薬品の認可に伴い新規参入と規模拡大が期待できる市場となっていますが、この時の思いを胸に、今後もしぶとく挑み続ける企業でありたいと願っています。

10年かけた工場集約。
忍耐とビジョンで完遂した
たゆみない「勇気」。



- 1 現在当社が製造するパッケージの一例。広く知られた医薬品のパッケージも多く手がけている
- 2 最新鋭の設備を備えた福生の新工場
- 3 CADと連動したカッターによる試作品の切り出し風景
- 4 製造現場への入室には、キャップの着用と定められた手順での手指洗浄等が必須。医薬品業界と同じレベルの環境を実現している



株式会社 ワキュウトレーディング

代表取締役社長 高橋 和久

受賞
理由

●まだ国内のマッシュルームの生産量も流通量も少ない中、試食販売やレストランへのメニュー提案を通じて市場を拡大。さらに欧州のマッシュルーム栽培技術を用いて国内生産農家への技術指導を行い、品質向上、生産量増大に挑戦して業績を拡大させたこと。

株式会社 ワキュウトレーディング

事業
内容 マッシュルーム専門商社

- 本社所在地：〒194-0021 東京都町田市中町4-24-17
- 業 種：卸売業
- 創 業：1995(平成7)年
- 従業員数：8人
- 資本金：1,000万円

”
美味しさを多くの人に。
きのこを信じ抜く「勇気」。

生産現場から消費者まで、「All for マッシュルーム」

当社は、マッシュルームを専門に扱う商社です。95年当時、マッシュルームの国内生産量は茸類全体の0.7%。市場での存在感は無いも同然の時代でした。創業の動機は、当時勤務していた外食産業の海外赴任先で「きちんと管理されたマッシュルーム」を初めて食べ、あまりの美味に衝撃を受けたからです。この魅力をきちんと伝えられれば、未開拓の市場でシェアが取れるのでは、そして市場自体を拡大できるのでは。そう考え、独立に踏み切りました。

当時、マッシュルームは缶詰でのイメージが強く「味が無い」「使い方がわからない」という声が大半。『野菜売り場の品数を揃えるため』の存在でした。そこで市場の開拓、マッシュルームの美味しさの普及活動に取り組みました。エプロンをつけ、毎日スーパーで

試食販売を敢行。味が伝われば、使い方がわかれば消費は伸びると確信していたからです。バックヤードでパートの方々に『美味しい!』と絶賛され、その勢いで店頭に立ちました。やがて、1日1〜2パックしか売れなかったものが800パック売れる日が出るなど、潮目が大きく変わってきたのです。試食販売を行った01年から06年の間、当社の年商は約2.5倍に伸びました。

一方で、当時は国内生産者の機械や設備も旧式の所が多く、お世辞にも生産性が高いとは言えない状況でした。そこで、マッシュルーム栽培の先進国・オランダをはじめヨーロッパの最新農場を足かけ7年かけて視察。「日本のマッシュルーム栽培技術はオランダから20年以上遅れている」。私は危機感を抱き、状況を打開できる糸口を必死に探し歩きました。その

中で、コンピューター管理による最新の栽培設備に出会い、国内生産者への輸入を開始。品質向上と安定的な供給体制の確保に努めました。

現在、道はまだ途中です。マッシュルームの日本人1人当たり年間消費量は2000年の約30gから2倍の約60gに伸び、当社も4年前にマッシュルーム専門のレストランを開業するなど、次々に攻めの手を打っていますが、私の目標は年間消費量「1,000g」です。マッシュルームに惚れ込んだ私の挑戦は、まだまだ続きます。



- 1 フランスの種菌工場視察。マッシュルーム設備・資材の輸入を手助けたフランク氏(左端)。日本語堪能な「頼れる同志」
- 2 ベトナム・ラムドン省での堆肥作り指導風景。海外初出店となるレストラン「MUSHROOM TOKYO」のホーチミン進出準備を始めている
- 3 超特大のマッシュルーム「ギガマッシュ®」。従来生産者が廃棄していたものを受注生産品として商品化。大きな話題となった。味は通常のものよりも深みと薫りがある
- 4 ベトナムでの出荷・検品作業指導風景





受賞企業一覧（11社・50音順）

奨励賞とは

大賞・優秀賞・特別賞とは別に、革新的な製品・サービスやビジネスモデルを生み出すための努力がみられ、総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞されることが期待される企業に贈られるもの。

イービーエム株式会社

代表者 朴 栄光

■ 本社所在地：大田区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：手術訓練シミュレータ、医療用画像ワークステーションの製造

表彰ポイント

大学発ものづくりベンチャーとして心臓外科手術訓練シミュレータ事業化への挑戦

FSX株式会社

代表者 藤波 克之

■ 本社所在地：国立市 ■ 業種：サービス業

■ 事業概要：おしぼりの企画開発・製造・販売、おしぼり関連資材の企画開発・販売

表彰ポイント

業界の常識を打破する高付加価値おしぼりの開発と働き方改革への挑戦

FSテクニカル株式会社

代表者 藤田 正吾

■ 本社所在地：葛飾区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：ビル外壁の改修技術メーカー

表彰ポイント

施工後の剥離防止に優れ、かつ低騒音、低振動、無粉塵の工法開発への挑戦

株式会社関越物産

代表者 白井 宏一

■ 本社所在地：豊島区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：「こんにゃく」「ところてん」などを手がける食品メーカー

表彰ポイント

「こんにゃく」の常識を打破し、“あく”と“におい”をとる超音波洗浄処理法開発への挑戦

株式会社今野製作所

代表者 今野 浩好

■ 本社所在地：足立区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：油圧機器製造、金属板金加工、環境・福祉機器製品開発

表彰ポイント

リーマンショック後の業績回復を目指した人材育成・業務改善・IT化への挑戦

株式会社鹿浜製作所

代表者 鹿浜 茂

■ 本社所在地：足立区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：金属切削加工および巻き爪矯正具の製造・販売

表彰ポイント

既存取引の減少を機に下請け脱却・自社商品の開発販売への挑戦

株式会社玉川繊維工業所

代表者 関口 雅章

■ 本社所在地：世田谷区 ■ 業種：サービス業

■ 事業概要：ホテルなどのシーツ・カバーをはじめとするリネンサプライ業

表彰ポイント

創業100周年に向け、「愉快的な生活の創造と果敢な挑戦」を経営理念にBtoC分野に挑戦

日本工業刃物株式会社

代表者 青木 義昇

■ 本社所在地：台東区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：工業用刃物製造販売

表彰ポイント

業界初の標準規格品の開発と自社一貫生産体制構築への挑戦

株式会社ポポンデッタ

代表者 太田 和伸

■ 本社所在地：千代田区 ■ 業種：小売業

■ 事業概要：鉄道模型及び鉄道グッズ製造・販売、鉄道ジオラマ併設飲食店運営

表彰ポイント

業界の常識を打破する鉄道マニア以外への市場開拓と新業態への挑戦

丸和繊維工業株式会社

代表者 深澤 隆夫

■ 本社所在地：墨田区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：アパレル製品（カットソー）の製造

表彰ポイント

宇宙飛行士の船内普段着の開発・採択と、「下請け体質脱却」への挑戦

三益工業株式会社

代表者 中西 忠輔

■ 本社所在地：大田区 ■ 業種：製造業

■ 事業概要：航空宇宙・鉄道車両・発電機器部品の精密機械加工、熱処理、組み立て・修理

表彰ポイント

技術習得、人材育成に注力し、高い技術力を有する「妥協なきものづくり」への挑戦

I 「勇気ある経営大賞」とは

「勇気ある経営大賞」は、東京商工会議所が、厳しい経営環境の中で勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループを顕彰する制度です。革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア、経営手法等により、独自性のある製品・サービスを生み出している企業を顕彰いたします。併せて、その活動を広くPRすることで、後に続く企業に目標と勇気を与え、ひいては経済の活性化に資することを目的としています。

なお、本賞は売上高や財務内容、市場シェアといった数値の比較によって選考するものではなく、業種・業歴も関係なくご応募いただけます。現況を打破するイノベーションを実践されている企業を発掘し、顕彰してまいりたいと考えております。

本賞における“勇気”とは

本賞では、過去に拘泥することなく大きく経営の舵を切る決断を下し、実際に以下の行動をとったことを“勇気”とし、下記の選考基準の「チャレンジ精神」として評価します。

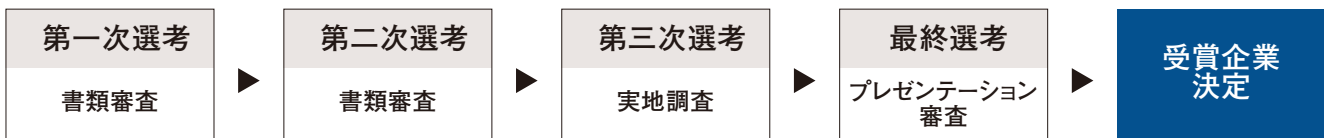
大きなリスクに挑戦したか

高い障壁に挑んだか

常識の打破に挑戦したか

高い理想の追求を行ったか

II 選考の流れ



III 選考基準、評価のポイント

製品・サービス	①革新性・独自性・優位性 ②技術・技能・ノウハウ ③市場性・成長性・社会性 ▶ 製品・サービスに革新性・独自性・優位性があり、新たな付加価値を生み出しているか。 ▶ 技術・技能・ノウハウに、他社が追随できない優れた特徴はあるか。 ▶ 市場シェア、顧客満足度は高いか。製品・サービスに成長性や社会性はあるか。
経営手法	①ビジネスモデル ②人材の育成・活用 ③コンプライアンス、環境対策、社会貢献活動など ▶ ビジネスモデルに独自性があり、他の中小企業の模範となるものか。 ▶ 社外資源（取引先や公的機関など）を有効活用しているか。 ▶ 多様な人材がイキイキと働くよう、人材の育成や従業員満足度の向上に力をいれているか。 ▶ コンプライアンス徹底や環境対策、社会貢献活動に積極的に取り組んでいるか。
チャレンジ精神	①チャレンジ精神と事業化能力 ②経営理念 ③成長戦略 ▶ 確固たる戦略に基づいてチャレンジ精神を発揮し、成果をあげているか。 ▶ 苦境に際し、いかなる工夫とイノベーションによりそれを克服し、成長を果たしたか。 ▶ 経営理念や成長戦略が明確であるか。また、それが社員にまで十分浸透しているか。
業績・財務状況	①財務基盤 ②収益性・成長性 ▶ 将来的な企業存続のための財務基盤が確立しているか。 ▶ 収益性・成長性は高いか。【本項目は副次的な参考要素にとどめる】

※上記の選考基準項目をすべて満たしていない場合でも、特に優れた項目について積極的な評価を行います。 ※選考に関しては、過去の顕彰・表彰実績や大企業との資本関係の有無等を考慮する場合があります。 ※創業時の取り組みについては、その内容とそれに伴う成果や実績を明確に記載することが必要となります。ただし、創業自体をもって、チャレンジ精神として評価することはありません。 ※技術大賞とは異なり、製品・サービス内容における技術的優位性などはあくまで評価項目の1つとなります。

応募資格について

次の①②のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ（自薦・他薦は問わない）

①中小企業基本法に定める中小企業※で未上場企業 ※資本金3億円以下または常時雇用する従業員300人以下の会社。ただし、卸売業の場合は資本金1億円以下または従業員100人以下、小売業の場合は資本金5,000万円以下または従業員50人以下、サービス業の場合は資本金5,000万円以下または従業員100人以下。みなし大企業はご応募できません。

②東京都に事業活動の拠点（支社、支店、工場、営業所、事務所等）を置く企業 但し、一都八県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、茨城県、栃木県、山梨県、静岡県）に本社機能がある企業に限る。 なお、東京商工会議所の会員・非会員を問わない。

IV 第15回「勇気ある経営大賞」運営組織における委員構成

（敬称略・順不同）

2017年9月1日現在

実行委員会 本事業の運営を統括

委員長	伊 東 孝 紳	東京商工会議所	副会頭（本田技研工業株式会社 取締役相談役）
委員	大久保 秀 夫	東京商工会議所	副会頭・中小企業委員長（株式会社フォーバル 会長）
委員	下 村 節 宏	東京商工会議所	特別顧問・工業部会長（三菱電機株式会社 相談役）
委員	伊 丹 敬 之	国際大学	学長
委員	望 月 晴 文	東京中小企業投資育成株式会社	社長
委員	上 坂 徹	フジサンケイビジネスアイ	社長

選考委員会 選考の統括ならびに最終選考（プレゼンテーション審査）を担当

委員長	伊 丹 敬 之	国際大学	学長
副委員長	望 月 晴 文	東京中小企業投資育成株式会社	社長
委員	鵜 飼 信 一	早稲田大学商学大学院	教授
委員	渡 辺 元	東京商工会議所	中小企業国際展開推進委員長（渡辺パイプ株式会社 社長）
委員	今 野 由 梨	ダイヤル・サービス株式会社	社長
委員	長谷川 裕 夫	東京都立産業技術研究センター	理事・開発本部長
委員	保 坂 政 彦	東京都中小企業振興公社	専務理事
委員	間 部 彰 成	東京商工会議所	理事・事務局長

選考ワーキンググループ 第二次選考（書類審査）・第三次選考（実地調査）を担当

座 長	鵜 飼 信 一	早稲田大学商学大学院	教授
委員	井 上 考 二	日本政策金融公庫	総合研究所 主席研究員
委員	大 村 智 之	東京中小企業投資育成株式会社	ビジネスサポート部長
委員	清 水 郁 男	東京都中小企業振興公社	総合支援部 総合支援課長
委員	四ッ柳 茂 樹	株式会社OCL	代表取締役
委員	若 槻 直	東京都中小企業診断士協会	理事 副会長
委員	藁 品 和 寿	信金中央金庫	地域・中小企業研究所 主任研究員
委員	斎 木 純 一	フジサンケイ ビジネスアイ	相談役
委員	山 下 健	東京商工会議所	中小企業部長

第一次選考委員 第一次選考（書類審査）を担当

委員	遠 藤 啓 治	中小企業診断士	委員	佐 川 博 樹	中小企業診断士
委員	大 橋 信太郎	中小企業診断士	委員	松 浦 徹 也	中小企業診断士
委員	小 野 晴 世	中小企業診断士	委員	松 原 和 枝	中小企業診断士
委員	坂 本 篤 彦	中小企業診断士	委員	渡 辺 孝	中小企業診断士

V 賞金

大賞	賞金：200万円	優秀賞	賞金：50万円	特別賞	賞金：30万円
----	----------	-----	---------	-----	---------

※選考の結果、大賞に該当する企業がない場合や複数企業が賞となる場合もあり得る。大賞企業が複数の場合は、大賞賞金額の範囲内で等分するものとする。 ※特別賞は、挑戦度や商品力、経営手法、経営者の理念・ビジョン、業績・財務状況などの総合的な面では大賞・優秀賞に及ばないものの、極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞する。

Ⅵ 募集期間・応募総数

募 集 期 間 2017年1月12日～3月10日 応 募 総 数 155社

業種別内訳 合 計 155社

建設業	11 社	(7.1%)	金融・保険業	1 社	(0.6%)
製造業	54 社	(34.8%)	不動産業	6 社	(3.9%)
情報通信業	10 社	(6.5%)	サービス業	53 社	(34.2%)
運輸業	3 社	(1.9%)	その他	2 社	(1.3%)
卸売業	10 社	(6.5%)			
小売業	5 社	(3.2%)	合 計	155 社	

Ⅶ 選考過程

第一次選考会 — 4月20日(木)・21日(金) (書類審査)	第三次選考会 ————— 8月9日(水) (実地調査審査)
第二次選考会 — 6月13日(火) (書類審査)	最終選考会 ————— 9月14日(木) (プレゼンテーション審査)
実地調査 ————— 6月27日(火)～7月26日(水)まで	

Ⅷ 推薦機関一覧

株式会社商工組合中央金庫	昭和信用金庫	公益財団法人東京都中小企業振興公社
東京中小企業投資育成株式会社	西武信用金庫	東京都よろず支援拠点
株式会社日本政策金融公庫	世田谷信用金庫	市川商工会議所
株式会社東京都民銀行	東京東信用金庫	町田商工会議所
株式会社三井住友銀行	公益財団法人大田区産業振興協会	株式会社青月社
朝日信用金庫	一般社団法人海外インフラ技術協力会	株式会社伊藤園
興産信用金庫	キャリア・コンサルタント協同組合	IS経営コンサルティング株式会社
さわやか信用金庫	一般社団法人日本金型工業会	株式会社あたぼう
城南信用金庫	日本石鹼洗剤工業組合	那住行政書士事務所
城北信用金庫	公益財団法人日本発明振興協会	コンパッサン税理士法人
		フジサンケイビジネスアイ <順不同>

Ⅸ 「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧

(第1～4回 2003～2006年)

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第1回 2003年 (H15年)	大賞	株式会社メディネット	平成7年	「免疫細胞医療法」における医療機関への支援(サービス)	横浜市
	優秀賞	株式会社キャドセンター	昭和62年	建築シミュレーション等ビジュアルコンテンツ制作(情報サービス)	新宿区 【現:千代田区】
		株式会社生活の木	昭和30年	ハーブ関連商品の製造・販売(小売)	渋谷区
		日本風力開発株式会社	平成11年	風力発電所の開発・運営(エネルギー)	港区
		株式会社ビー・ジー・エム	平成10年	ヨーロッパ古着の量り売り(小売)	目黒区
	特別賞	マイクロニクス株式会社	昭和60年	電子計測器・情報通信機器の開発・製造(製造)	相模原市 【現:八王子市】
		マノ精工株式会社	昭和23年	切削による精密金属加工(製造)	立川市
		株式会社太新	平成8年	養殖魚の生産、水産物の加工販売(卸売)	港区
		株式会社ダイワハイテックス	昭和53年	書籍の包装機械・副資材の製造・販売(製造)	板橋区
		株式会社ファイマテック	昭和62年	重質炭酸カルシウム(製紙用顔料)の製造(製造)	港区 【現:千代田区】
		フットマーク株式会社	昭和21年	水泳用品・介護用品等の企画・製造(製造)	墨田区
第2回 2004年 (H16年)	優秀賞	株式会社アイエス	平成10年	ペットボトル等のケミカルリサイクル技術開発(サービス)	港区
		株式会社アパレルウェブ	平成12年	ポータルサイト運営、ビジネスマッチング(サービス)	中央区
		エビナ電化工業株式会社	昭和21年	特殊めっき加工(製造)	大田区
		大智化学産業株式会社	昭和41年	電子部品素材の水溶性加工溶剤の開発・製造(製造)	墨田区 【現:中央区】
		株式会社木村技研	昭和23年	各種トイレ・水処理システムの製造・施工(製造)	世田谷区
		坂田電機株式会社	昭和27年	土木・建築関連の計測機器の開発・製造(製造)	杉並区 【現:西東京市】
		株式会社シナジー	昭和59年	システム開発製造・販売(サービス)	品川区
		株式会社日本バープル	昭和47年	機密書類・情報記録媒体の集荷・抹消処理・保管(サービス)	港区
第3回 2005年 (H17年)	大賞	株式会社サキコーポレーション	平成6年	プリント基板実装工程向けの自動外観検査装置の開発(製造)	港区 【現:品川区】
	優秀賞	株式会社アキュラホーム	昭和53年	住宅建築、工務店経営コンサルティング(建設)	さいたま市 【現:新宿区】
		株式会社アタゴ	昭和15年	各種屈折計(濃度測定)の開発(製造)	板橋区 【現:港区】
		株式会社ウェルシィ	昭和60年	地下水膜ろ過システムの製造・メンテナンス(製造)	中央区 【現:品川区】
		エム・アンド・エスファインテック株式会社	平成10年	ガラス研磨装置の開発・製造(製造)	港区
		東成エレクトロビーム株式会社	昭和52年	電子ビーム・レーザによる金属部品の受託精密加工(製造)	西多摩郡瑞穂町
		マイルストーン株式会社	平成10年	プラスチック小型非球面レンズの開発・設計(製造)	府中市
	特別賞	三鷹光器株式会社	昭和41年	医療・産業用の光学機器等の開発・製造(製造)	三鷹市
		ミナミ株式会社	昭和55年	半導体表面実装用スクリーン印刷機の開発・製造(製造)	府中市
		株式会社ワールドケミカル	昭和46年	油回収ポンプ・システムの開発・製造(製造)	港区 【現:台東区】
		イデアールプロジェクト株式会社	平成15年	リノベーションを主とする不動産開発の企画・運営(不動産)	目黒区
		株式会社ロコモジェン	平成13年	ゲノム創薬に基づく医薬品・診断薬の研究開発(サービス)	港区
第4回 2006年 (H18年)	大賞	岡野工業株式会社	大正13年	痛くない注射針等の金属加工業(製造)	墨田区
	優秀賞	株式会社ダイマジック	平成11年	3Dオーディオシステムを活用した音響機器開発(製造)	千代田区
		京王電化工業株式会社	昭和43年	各種メッキ処理、環境対応型メッキ技術の開発(製造)	調布市
		スターウェイ株式会社	平成11年	再利用梱包箱を利用した物流業(サービス)	港区
		株式会社大和テクノシステムズ	昭和42年	理科学機器パーツの精密加工・開発・設計(製造)	町田市
		株式会社日進産業	昭和52年	特殊多機能性塗料の研究・開発・製造(製造)	板橋区
		株式会社橋本鋳造所	明治45年	多品種鋳造品の製造・販売(製造)	大田区
	特別賞	株式会社松崎マトリクステクノ	昭和17年	繊維編織機械、繊維製品の開発・製造(製造)	板橋区
		株式会社明王化成	昭和44年	電子部品精密成形、精密金型設計製作(製造)	大田区
		株式会社ユニフローズ	昭和60年	分析装置用マイクロポンプの開発・製造(製造)	あきる野市
		有限会社酒舗まさるや	昭和43年	地酒と本格焼酎を専門とした酒の販売(小売)	町田市

(第5～9回 2007～2011年)

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第5回 2007年 (H19年)	大賞	株式会社チバダイス	昭和41年	小型精密歯車の開発・設計・製造(製造)	葛飾区
		東光薬品工業株式会社	昭和36年	白血病治療薬の開発・製造(製造)	足立区
	優秀賞	株式会社イビサ	昭和40年	自社ブランド革製手作りバッグの製造(製造)	港区
		京西テクノス株式会社	平成3年	全メーカーの計測・医療・通信機器の保守・修理(サービス)	八王子市【現:多摩市】
		昭和測器株式会社	昭和43年	様々な分野における振動計測器の開発(製造)	千代田区
		株式会社東京信友	昭和58年	聴覚障がい者用情報伝達機器の開発(製造)	新宿区
		株式会社浜野製作所	昭和53年	レーザー加工・金型・精密板金・プレス加工(製造)	墨田区
		株式会社ワールドバイオニア (現:ダブル・ビー株式会社)	平成3年	聴覚障がい者向け機器製造及びサポートサービス(製造)	中野区
	特別賞	株式会社ヤマグチ	昭和40年	地域密着型家電小売業(小売)	町田市
第6回 2008年 (H20年)	大賞	株式会社エリオニクス	昭和50年	ナノテク研究用の超微細加工・分析装置の開発(製造)	八王子市
		大和合金株式会社・三芳合金工業株式会社	昭和16年 昭和38年	特殊銅合金の開発・製造(製造)	板橋区 埼玉県入間郡
	優秀賞	日本分析工業株式会社	昭和40年	液体クロマトグラフの開発・製造(製造)	西多摩郡瑞穂町
		株式会社マルコム	昭和48年	はんだ付け関連装置及び核酸抽出装置の開発(製造)	渋谷区
		株式会社メトロール	昭和51年	機械式高精度接触センサの開発・製造(製造)	立川市
		株式会社リーテム	明治42年	廃棄物処理及び環境コンサルタント(サービス)	千代田区
	特別賞	有限会社原田左官工業所	昭和24年	左官工事及び湿式工事(建設)	文京区
第7回 2009年 (H21年)	大賞	坂口電熱株式会社	大正12年	あらゆる産業向けのヒーター及び部品の製造・販売(製造)	千代田区
		株式会社井口機工製作所	昭和30年	ボールベアリングを用いた搬送用装置の製造(製造)	練馬区
	優秀賞	株式会社相馬光学	昭和51年	光を利用した分析・測定・計測機器の開発(製造)	西多摩郡日の出町
		株式会社田代合金所	大正3年	錫合金を用いた内装建材の製造(製造)	台東区
		株式会社ヒキフネ	昭和7年	装飾・機能・精密などあらゆる種類のめっき加工(製造)	葛飾区
	特別賞	株式会社OKUTA	平成4年	自然素材を利用した住宅リフォーム(建設)	さいたま市
		株式会社環境経営総合研究所	平成10年	古紙と樹脂を混練・成形した紙製容器等の製造(製造)	渋谷区
		久米繊維工業株式会社	昭和10年	国産オリジナルTシャツの企画・製造・販売(製造)	墨田区
		グラバックジャパン株式会社	大正14年	印刷、紙器製造、レンズシートの製造・販売(製造)	墨田区
		株式会社ズーム・ティー・ 有限会社奥谷硝子製作所	昭和62年 昭和38年	ドクターベッタほ乳びんほかベビー用品の販売(小売) 手作りによる各種ガラス製品の製造(製造)	港区 江戸川区
第8回 2010年 (H22年)	大賞	アルケア株式会社	昭和30年	医療・福祉・健康分野器具の開発・製造(製造)	墨田区
		日本理化学工業株式会社	昭和12年	チョークを中心とする文具・事務用品製造(製造)	川崎市
	優秀賞	株式会社オプナス	昭和5年	自動販売機・住宅ドア等の錠及び鍵の製造(製造)	千代田区
		株式会社グルメン	昭和59年	日配食品を中心とする食品流通(卸売)	港区
		株式会社長津製作所	昭和25年	精密プラスチック金型の設計・製作(製造)	川崎市
		株式会社マテリアル	平成4年	非鉄金属材料販売、精密機械加工(製造)	大田区
		株式会社ミラック光学	昭和38年	精密光学機器・位置決めステージ等の製造(製造)	八王子市
	特別賞	アラヤ株式会社	平成16年	製品の取扱説明書等の多言語翻訳(サービス)	目黒区
		株式会社大麦工房ロア	昭和61年	大麦を使った菓子・食品の製造・販売(製造)	足利市
		有限会社モーハウス	平成9年	授乳服の製造・販売(製造)	つくば市
第9回 2011年 (H23年)	大賞	株式会社サカエ	昭和27年	電気機械器具製造業(シースヒーター、シュレッター、検査用医療機器等の製造・販売)(製造)	港区
		アトムメディカル株式会社	昭和13年	医療機器の製造、販売、輸出入及び保守、メンテナンスサービス(製造)	文京区
	優秀賞	小杉造園株式会社	昭和18年	庭園のデザインから施工、メンテナンスまでの一連の業務請負(建設)	世田谷区
		株式会社データ・テック	昭和58年	車載機「セイフティレコーダー」の開発、販売及び支援業務(製造)	大田区
		株式会社旅籠屋	平成6年	ロードサイドホテルチェーン「ファミリーロッジ旅籠屋」の経営(サービス)	台東区
		深中メッキ工業株式会社	昭和27年	電気メッキ業(主に、電子部品の表面処理)(製造)	墨田区
	特別賞	福永紙工株式会社	昭和38年	印刷・紙器加工(製造)	立川市
		株式会社ベアーズ	平成11年	家事代行、介護支援、子育て支援、ハウスクリーニング(サービス)	中央区

(第10～14回 2012～2016年)

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第10回 2012年 (H24年)	大賞	株式会社日本レーザー	昭和43年	レーザー・光学機器製品の輸入販売及び自社品開発販売・サービス(卸売)	新宿区
	優秀賞	株式会社鬼塚硝子	昭和42年	各種ガラス機器、CO2レーザー、電界放出型X線管の製造販売(製造)	青梅市
		有限会社清田製作所	昭和38年	半導体関連電子部品回路検査装置用コンタクトプローブ製造・販売(製造)	北区
		株式会社コヤマドライビングスクール	昭和32年	自動車教習所(サービス)	渋谷区
		ダイヤ精機株式会社	昭和39年	自動車メーカー及び部品メーカー向け精密部品・治工具・設計(製造)	大田区
		株式会社田中医科器械製作所	大正5年	手術用鋼製手術器械の製造販売(製造)	北区
		武州工業株式会社	昭和27年	自動車用金属加工部品・医療機器部品製造、自動制御機械製作(製造)	武蔵村山市
	特別賞	山万株式会社	昭和26年	建築設計施工、宅地造成販売、不動産売買、仲介、賃貸、鉄道事業(建設)	中央区
		株式会社ユーグレナ	平成17年	ユーグレナ(和名 ミドリムシ)の研究開発・生産品質管理・販売(製造)	文京区【現:港区】
第11回 2013年 (H25年)	大賞	株式会社内野製作所	昭和2年	新車開発用の歯車試作からF-1や航空産業用の歯車までを製作する製造業(製造)	八王子市
	優秀賞	カネパッケージ株式会社	昭和51年	各種緩衝剤・設計・試験・製造・販売(製造)	入間市
		株式会社西尾硝子鏡工業所	昭和7年	商業施設で使用されるショーケースなどのガラス加工・施工業務(建設)	大田区
		日進精機株式会社	昭和32年	超精密金型製造及び精密金属プレス加工、CNCパイプベンダー他製造販売(製造)	大田区
		株式会社ミノダ	昭和39年	キャラクター商品企画製造、ワッペン等刺繍加工、通販サイト運営(製造)	千代田区
		株式会社ユニバック	平成2年	フィルタ製造販売、空調設備の保守、管工事・電気工事(建設)	川口市
	特別賞	システム・インストルメンツ株式会社	昭和47年	医療、環境、健康、バイオ関連装置の製造・販売(製造)	八王子市
		株式会社清和光学製作所	昭和22年	光学精密機器・装置開発製造(製造)	中野区
第12回 2014年 (H26年)	大賞	株式会社アイオイ・システム	昭和59年	電子関連機器の設計・開発、製造・販売(製造)	大田区
	優秀賞	芝園開発株式会社	昭和61年	時間貸の駐輪場・駐車場の運営管理、放置自転車対策事業などの受託(サービス)	足立区
		株式会社東洋ボデー	昭和31年	トラックの荷台(リアボディ)の設計・製造・販売(製造)	武蔵村山市
	特別賞	有限会社エニシング	平成12年	日本伝統の帆布素材の前掛けの企画製造販売(小売)	小金井市
		東京ブラインド工業株式会社	昭和24年	各種ブラインド・間仕切りの製造・販売・保守・修理サービス(製造)	港区
第13回 2015年 (H27年)	大賞	スタック電子株式会社	昭和46年	テレビ放送や防災無線等で用いられる高周波と光の伝送機器(製造)	昭島市
	優秀賞	株式会社ウエマツ	昭和33年	ポスター・カタログなどの高付加価値多色印刷物製造(製造)	豊島区
		株式会社CSS技術開発	昭和60年	測量サービス、土質試験、測量機レンタル、測量ソフト開発・販売(サービス)	多摩市
	特別賞	北星鉛筆株式会社	昭和26年	鉛筆製造と製造時に排出する廃棄物「おが屑」の再商品化事業(製造)	中央区【現:葛飾区】
		株式会社ヒカリ	昭和42年	理容師・美容師専用シザース、ネイリスト専用ニッパー開発・製造・販売(製造)	板橋区
第14回 2016年 (H28年)	大賞	株式会社キミカ	昭和16年	アルギン酸ならびにその応用製品の製造および販売(製造)	中央区
	優秀賞	株式会社アスペクト	平成8年	ハイエンド3Dプリンターの開発・製造・販売(製造)	稲城市
		管清工業株式会社	昭和37年	下水道管路施設管理業(建設)	世田谷区
	特別賞	株式会社東京インストルメンツ	昭和56年	光学機器、レーザー、計測機器の輸出入、分析装置の製造販売(卸売)	江戸川区
		株式会社マツブシ	昭和14年	一般企業向けオリジナル刺繍商品の製作販売(製造)	足立区

※ データは受賞当時のものです

